

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201422	住宅計画 Housing plan	相川 俊英	専門	2	選択	3年 後期

科目の概要

住宅は、『衣・食・住』という言葉にあるように、生活の最も基本的なところを担っている。本来あるべき住宅は、どのようなものであるかを、この授業を受けて身につけよう。住宅を考えるためには、必要な知識と共に、基本的な考え方を整理し、その考え方をわかりやすく見える化する必要がある。授業では、住宅に関する基礎知識を学ぶとともに、学外研修による最新モデルハウス及び最新住宅設備機器に関する情報を修得する。そして、自らの考える将来住みたい住宅を創造する方法を身につける。

学修内容	到達目標
① 住宅に関する基礎知識を学ぶ。 ② 住宅をつくる時の注意点及び進め方を学ぶ。 ③ 最新のモデルハウス及び住宅設備機器のショールームを見学し、最新住宅関連情報を把握する。 ④ 将来、自分が住みたい家を創造する。	① 自宅の住環境を調査し、課題を抽出できる。 ② 住宅をつくる時の課題及び進め方が理解できる。 ③ 最新モデルハウス及び住宅設備機器に関する感想を自分の言葉で、レポートにまとめることができる。 ④ 自分が望む家をかたちにして表現できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	住宅に関する一般情報を自ら入手し、住宅に関する基礎知識の向上に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	学外研修に積極的に参加して、研修レポートを期限までに提出することができる。
考え抜く力	課題発見力	自宅を調査し、住宅に関する課題を発見し、整理することができる。
	計画力	将来、自分の住みたいMYハウスのデザインについて、記述することができる。
	創造力	授業を通じて学んだ住居計画の基礎知識を基に、将来自分が住みたい MY ハウスを創造することができる。
チームで働く力	発信力	自分が住みたい MY ハウスの内容をわかりやすく説明することができる。
	傾聴力	授業内容をしっかり聞く姿勢で授業を受け、「あいづち」や「うなづき」など話を聞く姿勢ができています。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

参考文献

授業内容は、毎回コピーで提供します。⇒予習・復習に活用してもらいます。
 ・『宮脇檀の住宅設計テキスト』 宮脇檀建築設計室 丸善株式会社・1993年
 ・初めて学ぶ住居学 株式会社学芸出版社・2015年
 ・最新住宅学入門 実教出版株式会社・2004年

他科目との関連、資格との関連

関連科目：インテリア設計・住宅文化論 関連資格：インテリアプランナー、インテリアコーディネーター等

学修上の助言	受講生とのルール
授業で得た住宅に関する基礎知識を基に、自己の住環境では、具体的にどうなっているかを照らし合わせて考えると理解が深まる。また、学外研修(最新モデルハウス・最新住宅設備機器ショールーム)で、現地現物で、ものを見るのが一番の学習である。配布資料は、講義内容と一致しているので、授業の予習・復習に活用してほしい。	興味のある学習テーマについては、関連情報を調べ、知識の深耕を目指してほしい。 試験による評価ではなく、課題・レポート・授業態度等で評価する。欠席により、課題・レポートが提出できない場合は、事前に友人または、教務課に渡して、提出するようにしてください。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	20	①	学外研修(①トヨタホーム及び②LIXILショールーム)で得られた住宅関連の最新情報について、自己の考え、感想、意見等を自分の言葉で的確に表現できる能力を評価する。※①トヨタホーム及び②LIXILショールーム:各10点
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品	70	①	作品提出を3回実施(①自宅の調査:10点、②自分が望むリビング・ダイニング・キッチン:20点、③自分が将来住みたい住宅:30点)合計70点 作品の完成度(特に高い、完成度が高く表現にも工夫が見られる、完成しているが表現方法に努力と工夫が必要)で評価する
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	遅刻、無断欠席、学習意欲欠如、居眠り、課題やその他の提出物の未提出など授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。特に、授業中の居眠りについては、厳禁である。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>作品の完成度が高く、表現にも工夫と努力が見られ、わかりやすい表現で仕上がっている。S(秀)は、特に完成度が高い表現の作品となっている場合とする。</p> <p>レポートについては、学外研修の見学レポートとして、感想、意見、商品評価、感想等を自分の言葉で的確に表現している。</p>	<p>達成レベルA(優)にやや劣る表現内容の作品であるが、表現方法に工夫と努力がある程度感じられる作品となっている。</p> <p>レポートについては、学外研修の見学レポートとして、達成レベルA(優)にやや劣るが、ある程度的確に表現している。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	住宅のあり方の基本は、家族であり、住むことの意味、家を建てる目的等を学ぶ	講義 課題出題	住宅と家族生活の関係性について説明できる	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	課題発見力
2週 /	土地の秩序・家の配置・法規制を学び、住居と周辺環境の関係を認識する	講義 優秀作品講評	敷地(土地)に関する情報を整理できる	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	規律性 傾聴力
3週 /	住宅の内部空間(リビング・ダイニング・キッチン・浴室・WC等)のあり方を学ぶ	講義 課題出題	住宅の内部空間と生活の関連性を理解し、記述できる	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	創造力 傾聴力
4週 /	住宅の内部空間(寝室・納戸・階段等)のあり方を学ぶ	講義 優秀作品講評	住宅の内部空間と生活の関連性を理解し、記述できる	(予習) トヨタホームの情報 (復習) 今回講義内容	180	規律性 傾聴力
5週 /	学外研修:最新戸建住宅のモデルハウス(トヨタホーム)見学し、その特徴を理解する	情報収集(調査) レポート課題出題	最新戸建住宅のデザイン・技術等を把握し、その特徴について記述できる	(予習) 次回講義内容 (復習) トヨタホームの情報	180	主体性 課題発見力
6週 /	ゆとりある住まいを実現する方法(事例)を学ぶ	講義	ゆとりある住宅の内部空間を実現する方法を説明できる	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	規律性 傾聴力
7週 /	建築材料の基礎知識を学び、住宅にどう生かされているかを学ぶ	講義	建築材料の素材特性の基礎が把握できる	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	規律性 傾聴力
8週 /	現代住宅の家相についての基礎を認識する	講義	住宅計画と家相の関係性の基礎を説明できる	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	規律性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	安心な住まいを実現する方法を学ぶ(地震・防犯・環境)	講義	安心して暮らせる住宅のあり方が説明できる(地震・防犯・環境)	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	規律性 傾聴力
10週 /	安心な住まいを実現する方法を学ぶ(耐久性・健康・長寿)	講義	安心して暮らせる住宅のあり方が説明できる(耐久性・健康・長寿)	(予習) LIXIL商品情報 (復習) 今回講義内容	180	規律性 傾聴力
11週 /	学外研修:最新の住宅設備機器(LIXIL ショールーム)見学し、その特徴を理解する	情報収集(調査)レポート課題出題	最新住宅設備機器のデザイン・性能等を把握し、その特徴について記述できる	(予習) 次回講義内容 (復習) LIXIL商品情報	180	主体性 課題発見力
12週 /	住宅と街並み形成の関係性について学ぶ	講義	街並み形成の重要性が説明できる	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	規律性 傾聴力
13週 /	共に住む住まいの多様なあり方を理解する ※最終課題提示:自分が望むMYハウスを作成する	講義 課題出題	集合住宅に関する基礎(形式・分類・入居時の留意点等)を説明できる	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	創造力 傾聴力
14週 /	家族周期と住宅要求の関係性を学び、住み継ぐ作法及びリフォームのポイントを理解する	講義	生活の変化に呼応する住宅リフォームのポイントを説明できる	(予習) 次回講義内容 (復習) 今回講義内容	180	規律性 傾聴力
15週 /	世界の家・日本の家の事例を学び、その特徴を認識する	講義 プレゼンテーション 優秀作品講評	講義の集大成として、MYハウスを考えて、自己の作品を説明できる。	(予習) 特になし (復習) 今回講義内容	180	主体性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力